

MORES® CLUB

2025
Winter
VOL.04

ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) 普及への取り組みについて

モレスは、地球環境に配慮しつつ、お客様の快適で経済的な暮らしを実現するZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及に、高い目標を持って取り組んでいます。普及のため、高性能な断熱材やサッシ、高効率の設備や、太陽光発電システムを導入した高い省エネ性能を誇る住まいをご提供しています。さらに、ZEH基準を上回るHEAT20(※)G2グレードを実現したGX志向型住宅の推奨など、年間の光熱費を抑え、夏は涼しく冬は暖かい上質な住まいをお届けします。

※大学教授や研究者・住宅専門家がつくる一般社団法人「20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会」の略称。その断熱基準は国の断熱等級よりもはるかに高い。



モレスは、ZEHビルダーの認定を受け、積極的にZEH普及に努めています。

ZEH(ゼッチ)ビルダーは、ZEH住宅を建てることを経済産業省から認定されたハウスメーカーや建築会社のことです。ZEH住宅の普及や、支援活動に取り組みます。

information

モレスからのお知らせ

2025年4月 西宮市は市制施行から 100周年を迎えました!

この度、モレスは地元西宮市の100周年記念事業の一環として、子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」内で、地域を学ぶコンテンツ「モレスと学ぼう!ジモトガイド 兵庫県西宮市」を制作しました。これは、西宮市の象徴的な建築物や名所、市の取り組みなどを、未来を担う子どもたちに分かりやすく伝えるためのコンテンツです。また、2026年には制作予定のミニブックを、市内の公立小学校に通う小学1年生に配布する予定。地域の魅力と歴史を次の100年へつなぐこの活動を通じて、これからも西宮市の豊かな街づくりに貢献してまいります。



■子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」



■「モレスと学ぼう!ジモトガイド 兵庫県西宮市」紹介動画



法律・税務・ファイナンシャルプランなど ご入居後の様々な問題に対応するご相談窓口を設置しております。

法律・相続・税務 相談窓口

ご入居後の住宅ローン控除や取得税などの税金相談、権利関係や近隣問題などの相談、相続に関する法律や税務の相談など、ご自宅の不動産にまつわる様々な課題を解決する相談窓口を設けています。



FP (ファイナンシャルプランナー) 相談窓口

ご転職やお引越、住宅ローンの借り換えや一括返済など、ライフプランや資金計画が変更となった場合には、ファイナンシャルプランの見直しが必要です。モレスでは、新築時と同様に、専属のファイナンシャルプランナーによる相談をお取り次ぎしています。



Recruit

阪神間のデザイン住宅を手掛ける「建築デザイナー」募集!
「お客様の理想を叶える家づくりをしたい」そんな想いのある方、私たちの新しい仲間になりませんか?

詳しくはこちらを
ご覧ください



MORES®
FOR FUTURE HOME

お電話でのお問い合わせ (10:00~18:00/火・水定休)

0798-26-0100

〈公式WEBサイト〉

モレス

検索



〈フェイスブック〉



〈インスタグラム〉



〈X〉(旧Twitter)



〈ライン〉



〈YouTubeチャンネル〉



株式会社モレス 〒662-0917 兵庫県西宮市与古道町1番13号

Copyright © 2024 MORES CO., LTD. All Right Reserved.

第47回芦屋サマーカーニバル「モレスシート」ご招待企画に
多数のご応募、ご参加ありがとうございました。



2025年7月26日(土)、晴天に恵まれ盛大に開催された第47回芦屋サマーカーニバル。

昨年ご好評をいただきました「モレスシート」を今年もご用意いたしました。

今年は、昨年を上回るモレスオーナーの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

酷暑の昼間から一転、夕方からは涼やかな潮風が吹き、皆さま清々しい夏の夜を満喫いただけただけの様子でした。

また、本当に数多くのご応募をいただきましたこと誠にうれしく、心より御礼申し上げます。

MORES OWNER'S VOICE

取材にご協力いただきありがとうございました!!



雰囲気最高で、夜風が気持ちいいですね。
来年も来たいです。
吹田市・Oさまご家族



最高ですね。夜風とこの雰囲気だけで、
お腹いっぱいです。
西宮市・Mさまご夫妻



お酒も飲めて、お弁当までいただいて、
「いいの?」っていうくらい最高です。
西宮市・Sさまご夫妻



この辺は落ち着いて花火が見れるので、
すごくいいと思います。
西宮市・Yさまご家族



すごくいいです。
モレスさん限定のシートで、特別感があります。
芦屋市・Nさまご家族

暮らし彩る 歳時記 04

新年に厄を祓い 幸せな一年を願う「初厄神」



〈厄神堂〉

初厄神の「柴燈大護摩供(さいとうおおごまく)」

門戸厄神東光寺の「柴燈大護摩供」は、山伏によって境内で執り行われる大迫力の厄除けの儀式です。護摩壇に点じられた炎は不動明王の智慧(ちえ)を表し、その猛烈な火で厄災や煩惱を一気に焼き払います。参拝者の願いが込められた護摩木やお札が炎にくべられ、無病息災、開運招福を祈願します。法螺貝(ほらがい)が響き渡る中、立ち昇る炎の熱気が寒さを忘れさせる、新春を飾る力強い行事です。

阪急今津線「門戸厄神」駅から北へ徒歩10分の場所にある門戸厄神東光寺の「初厄神」は、毎年1月18日・19日に行われる関西屈指の厄除け大祭です。厄神明王が祀られる門戸厄神東光寺は、あらゆる災厄を打ち払うとされる靈験あらたかな名刹。新年最初となるこの大祭は、厄年を迎える方はもちろん、すべての方が無病息災と一年の幸せを願って参拝する重要な行事です。両日は参道に露店が並び、境内は多くの参拝者で活気に満ちあふれます。初春の熱気の中、しっかりと厄を払い、晴れやかな気持ちで良い一年をスタートさせましょう。

目次

contents

02 Thanks Report

ゲスト/FM802 DJ中島ヒロトさん

03 **WOW!! FOR YOU**
MORES PREMIUM CONCEPT HOUSE
特別披露 2025

09 神戸・岡本に、二つのモレスプレミアム。

11 モレスの住まい、モレスの人
#004 芦屋市 S様邸

国境も時代も超える
モダン空間

17 名建築を訪ねて

Vol.04 国指定重要文化財 神戸女学院
【兵庫県 西宮市】

21 MORES TOWN INFORMATION



MORES® CLUB

2025 Winter VOL.04

今号の表紙は、兵庫県のプライベートテラスのある家です。まっすぐに続くアプローチはタイルとライン照明で構成され、広々とした吹き抜けがまるでリゾートホテルのような雰囲気を醸成します。テラスの目隠し扉は、圧迫感を抑えて開放感を感じられる高さを追求し、外からの視線を気にせずプライベートな時間を満喫できるお住まいです。

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています



WOW!!
FOR YOU



MORES.
PREMIUM
CONCEPT HOUSE

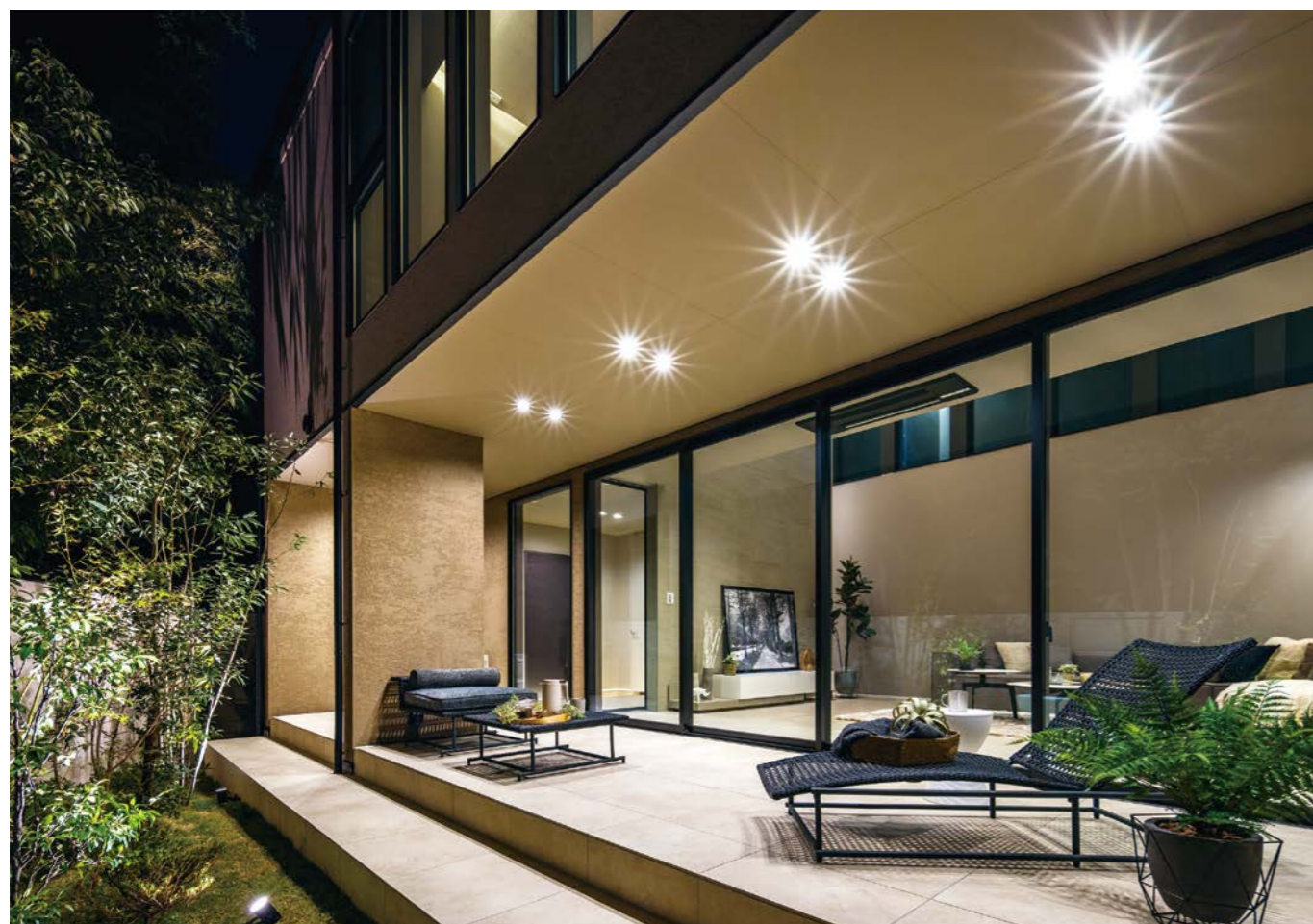
特別披露 2025

開放感あふれる圧巻の大空間へ

2025年秋、モレス渾身のコンセプトハウスが芦屋市岩園町に完成。
今回の特別披露では、FM802でおなじみの
DJ中島ヒロトさんをお迎えし、
随所に込められた創意と工夫、そして美意識をご案内しました。



約34.1帖のLDKは、SE構法の採用により実現した、大開口と吹き抜けを持つ圧巻の大空間。照明や大理石などの素材感で上質なホテルのような空間を創出



庭から見た大開口。緑と一体化した雨に濡れない完全なプライベート空間のテラスには、ソファやリクライニングチェアを配してもう一つのリビングに



光あふれる、格別の特等席

高い耐震性能と大開口を両立する「SE構法」により実現した圧巻の大空間。柱のない自由な広がり、自然光が降り注ぐ心地よい明るさに満たされ、「光あふれる、格別の特等席」となっています。



1. 芦屋市岩園町という街に調和する落ち着いた色目でありながら、大開口の窓やアクセントの黒い玄関扉などのモダンさがひととき目を引く外観 2. 大開口の窓から隣接する竹林を一望できる2階の主寝室 3. シャワールームや洗面室と隣接して、スムーズに朝の準備が完結できるように設計された2階主寝室のWIC



1. 収納量が豊富で、回遊性が高く広々とした使いやすいカウンターキッチン 2. 大開口のスライドドアを開放しリビングと連続するテラス。内外一体の空間でホームパーティーも楽しめる



「高い耐震性能」と
「自由な空間設計」を両立させる
SE構法の住まい

「芦屋市岩園町2号地」コンセプトハウス

本プロジェクトではモレス初となる「高い耐震性能」と「自由な空間設計」を両立させるSE構法を採用しました。この安心の構造が、大開口と吹き抜けを持つ広大な34.1帖のLDKという圧巻の空間設計を実現。柱のない自由な設計は、室内を明るい光で満たし、空と緑が室内に溶け込む、贅沢なまでの空間美を堪能する、モレス渾身の一品です。

このコンセプトハウスは
暮らしの夢をどんどん
膨らませてくれますね。

ぼく中島ヒロトが今回訪ねたのは、芦屋市岩園町のコンセプトハウスです。入った瞬間感じたのは、「今までのコンセプトハウスとは違う」ということ。ひと言でいえば「暮らしが想像できる家」というのかな。子どもたちが育って、大きくなっていく様子が目に浮かぶ。これはスゴイ家だと直感しました。

なんでそう感じたかといえば、中の空間が想像を遥かに超えて明るく広々としていたから。リビングのスケールなんか、とても木造住宅とは

思えない。ついつい「WOW!」と叫んじゃいました。実はこの家、モレス初のSE構法住宅だそうです。「どういう構法かって？」普通の木造で大空間をつくるには、柱や梁を増やさないと強さが保てない。でも重量木骨ともいわれるSE構法ならその必要はないし、地震などの自然災害にも強い。目に見える開放感と見えない安心感が一緒になっているのは、画期的ですよ。

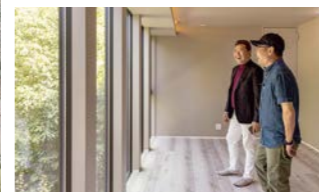
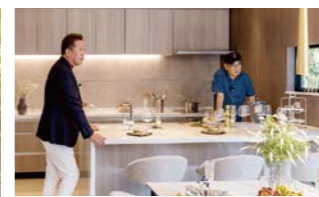
空間にこれだけ余裕があれば、みんなが自由な暮らしを楽しめるし、収納も広いので多くの場合、コレクションで集めている靴だってまだまだ増やせそう。5年先、10年先に、この広い空間を、家族の誰がどう活用するのかという妄想、もとい夢がどんどん膨らんでいく(笑)。まさに「WOW!」な家ですよ、これは。



中島ヒロト

(なかじま ひろと)

熊本県出身。1994年から大阪のFM802の看板DJとしてキャリア30年超。「普通」を愛し、最高のハッピーを届け続ける関西ラジオ界のキーパーソン。モレスが提供する番組コーナー「Mores Our Town」(木曜日16:20~16:40)のパーソナリティを長年務め、イベント司会やナレーション、ドラマ出演など、その活躍は多岐にわたる。



1	2
	3

コンセプトハウス取材当日の様子

1. 小春日和の穏やかな陽射しの中、1階リビングの大開口に面した開放感あふれるテラスで、モレス高沢と中島ヒロト氏の会話が弾みます。2. 広々としたカウンターキッチンは、その機能性とデザインに、中島さんから驚きの声が上がりました。3. 約11帖のゆとりある2階の主寝室からは、隣接した美しい竹林を望むことができます。実はこの竹林も、当物件の敷地だというから驚きです。

モレスの住まい、
モレスの人

#004
芦屋市 S様邸

国境も
時代も超える
モダン空間

1階リビングでくつろぐご夫妻。

中央のペルシャ絨毯じゅうたんをはじめ、イランの伝統文化を伝える品々が、
モダンな空間と美しく調和する



モノトーンで統一されたキッチンで語らうお二人とお嬢様。キッチン内の設備は、洗練されたデザインと機能のビルトインキッチン家電で知られるドイツのプレミアムブランドMIELE(ミーレ)社の製品で統一



中庭側から見たリビング。ソファの背後の壁掛けは、この家のために約6ヶ月をかけてイランでつくられたもの。厚い生地の上には「愛こそがすべて」を意味するペルシャ語が金属板で表されている

本物の素材が生み出す 深い落ち着きと 居心地のよさ

今回お訪ねしたのは、芦屋市の山の手にある朝日ヶ丘町。周辺に大きな邸宅がいくつも並ぶ、閑静な住宅街の一角です。天然石の高い袖壁が印象的な玄関から入ると、外の袖壁と同じ石壁が内部まで続き、重みのある表情で人々を出迎えます。中庭に面した大きな窓からは明るい光が差し込み、鮮やかな陰影のコントラストを生み出しています。

玄関からホールを抜けて奥へ進むと、30畳を超える広さと大きな開口部を持つリビング・ダイニング・キッチン。モダンで機能的なこの空間に、シックな色合いの天然木の天井、明るいグレーの大理石の壁などが調和し、深い落ち着きと居心地のよさを生み出しています。

素材へのこだわりは、S様ご夫妻の故国の文化とも関係があるようです。お二人の出身地は中東のイラン。長らく木や石の家を建ててきた国だけに、欧米風のモダンな住宅が増えた今でも、要所要所には天然素材を使うことが多いのだとか。「私にとっても、玄関の石壁は譲れない条件でした。見ているだけで、いつも誇らしい気持ちになるんですよ」というご主人の顔は、ひとときわ晴れやかでした。



壁面を彩る天然大理石。統一感のある色彩と模様が、家族の空間に上質な落ち着きをもたらす

大切な時間を 過ごすための お気に入りの場所

あふれるような光も、この住まいの魅力の一つです。それをもたらしているのが、1階東側のコートヤード(中庭)。芦屋の天空とつながる空間が、エントランスからホール、リビング・ダイニングにまで、豊かな陽光を運びます。

心地よい風が流れ、柔らかな日の光に満ちたこの空間は、ご夫妻のお気に入りの場所。奥様によれば「空気が本当においしくて、まるでリゾートのようなんです」休日や夜には、家族全員でソファに

座り、団らんの時間を過ごすことも多いといえます。

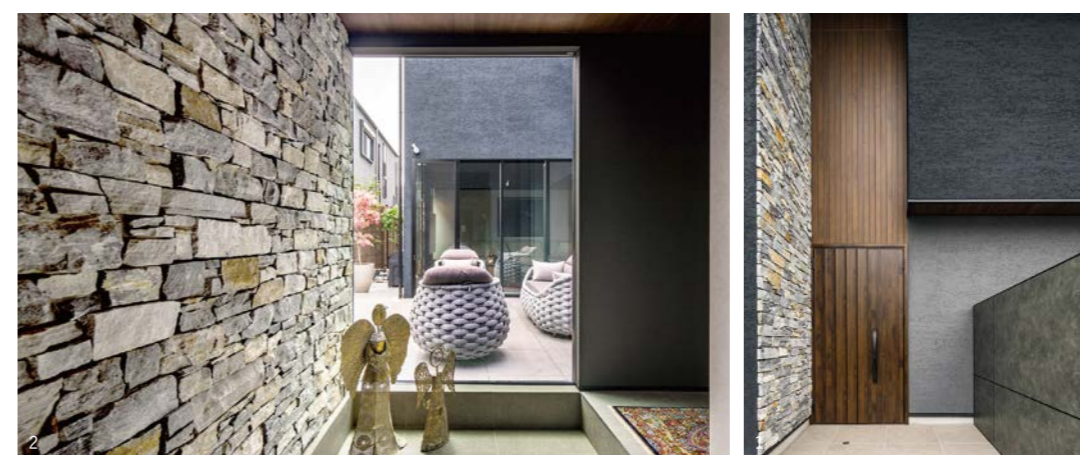
「実はもう一つ、大好きな秘密の場所があるんですよ」と奥様が教えてくださったのは、ホールの階段下に設けられた小さな空間。二人用のコンパクトなソファセットが、親密な雰囲気を感じさせます。

この特別な場所で、お二人はコーヒーを片手にいろいろなお話をされるのだとか。民間航空のパイロットをしておられるご主人はとにかく多忙。

「どうかすると、家族の語りもおろそかになりがちです。だからこそ、ここで過ごす二人だけの時間を大切にしたいのです」



ホールの階段下にある奥様お気に入りのスペース。白いソファセットや階段の足元には小さなペルシャ絨毯が



- 1 玄関外側には、ご主人の念願だった天然石の袖壁が圧倒的な存在感を見せる
- 2 玄関から大きな窓を通して中庭を望む。重厚な石壁と明暗のコントラストがひととき印象的



夜の中庭から望むS様邸。柔らかな間接照明が窓や階段のシルエットを優しく浮かび上がらせ、中庭でくつろぐご家族を温かく包み込む



正面から見たS様邸。モノトーンの外観がひととき存在感を放つ

モレス公式サイトで詳しくご紹介しています



「家族の幸せがなければ どんな住まいも 意味がない」

日本での生活が長いお二人は、多くの住まいを経験しておられますが、どれも何かびったりしなかったとのこと。でも、モレスは違ったといいます。

「最初の打合せの後に、すぐ図面が上がってきたのですが、私たちの要望がすべて入っていた。これには驚きました」

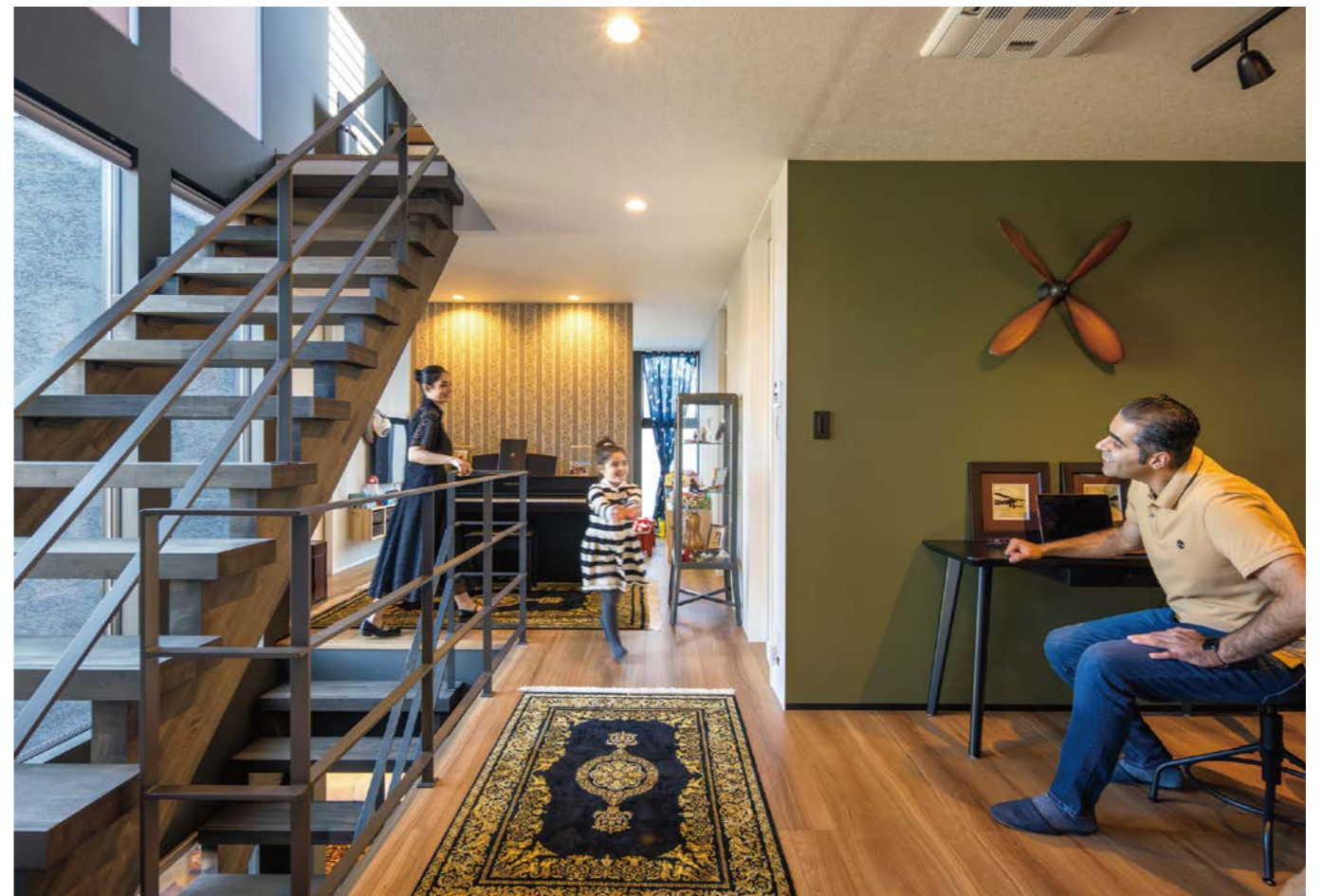
その後も、ご夫妻のさまざまな要望に対して、担当者は一緒に解決策を考えてくれたといいます。

「私たちの家づくりの中心は、いつも家族。担当の方々は、その思いをしっかりと受け止め、かたちにしてくれました。それがいちばんうれしかったですね」

その工夫は、間取りの構成から内外装のデザイン・素材・色、さらに空調などの設備にも及んでいます。

「猛暑の7月に移ってきましたが、風がよく通るこの家はとても涼しく快適。モダンなのにとっても自然に近いんです」

取材の最中も、二人のお嬢様とにこやかに語らうご夫妻。「愛こそが私たちの生き方。私たちのすべてです」というお二人だからこそ、この住まいが実現したのだな、と改めて納得した瞬間でした。



ご主人のワークスペース(手前)やお子様のためのピアノが置かれている2階プライベートスペース。パイロットのご主人らしく、緑の壁面には飛行機のプロペラのミニチュアが掛かる

ペルシャ絨毯に 込められた 故国の伝統と誇り

住まいの中で特に目を奪われたのが、リビングのペルシャ絨毯です。落ち着いた色彩と繊細なアラベスク文様(※)が調和するこの一枚は、奥様がイランから取り寄せたもの。約100年前に上質の羊毛を使って手織りされたもので、今でもうつくしう手がいないという逸品です。

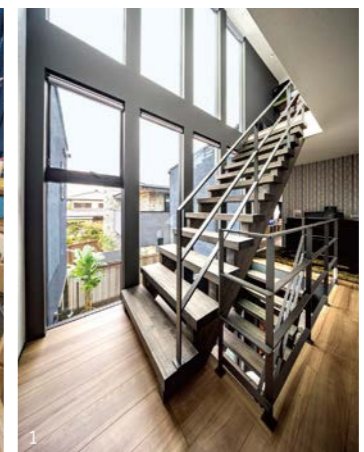
ご主人によれば、ペルシャ絨毯の文様や色彩は地域それぞれの伝統に根差しており、完成には年単位の時間が必要。素材も重要で、特に羊毛を使ったものは、地元でもなかなか入手できないそうです。

「真のペルシャ絨毯は、イランの伝統と美意識が織り込まれた唯一無二のもの。いわば宝石を超えた宝石なのです」

S様邸には、他にも故郷の古い家具や調度品や装飾品などがさりげなく配され、静かな存在感を放っています。はるか中東の伝統と現代日本のモダン空間が二つに融合し、新たな美しさを生み出しているのです。

「来日して8年余りですが、故国の伝統と文化への想いは、常に私たちの胸にある。そのことを子どもたちにも伝えたいですね」——ご主人の言葉に、イランの人々の誇りを見たように思いました。

(※) 植物や幾何学などをモチーフとするペルシャ美術の装飾文様。



1
屋上へ通じる2階の階段。天井まで届く大きな窓が、豊かな光と眺望をもたらす

2
二人のお嬢様のためのフリースペースは、2階ホールの一部を独立した壁で仕切ったもの

「目に触れる仕事のつひとつが、本当に丁寧で感心します。こんな大学で学べる女性がうらやましいですね」

「目には触れる仕事のつひとつが、本当に丁寧で感心します。こんな大学で学べる女性がうらやましいですね」



- 1 院章マークの三つ葉のクローバーは随所にあるが中庭の噴水だけは四つ葉のデザイン
- 2 建物の屋根をおおうS字瓦。近くで見ると一つひとつ微妙に色合いが異なる
- 3 建物の下層部を飾るスクラッチタイルも、100年近く前からの意匠



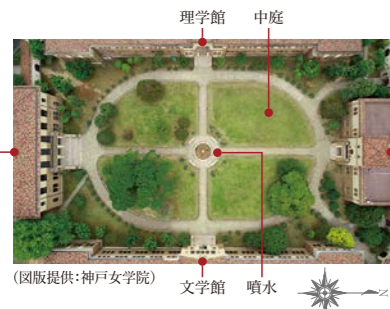
建物を結ぶ回廊は、ほどよい高さで幅で伸びる優しい空間。時間とともに移りゆく光と影の表情も美しい

中庭を中心に
回廊でつながる
珠玉のようなキャンパス

阪急「門戸厄神」駅から徒歩西へ約10分。静かな住宅地の中にあるアプローチから、「神戸女学院」のキャンパスは始まります。正門から森の小道を思わせるスロープを登り切ると、そこは「神戸女学院」の中心部。噴水を中心にした中庭を挟んで、文学館と理学館、図書館と礼拝堂講堂を兼ねた総務館が回廊で結ばれ、整然と向かい合う様子に、訪れたモレス設計部のデザイナー・内田真奈美が感嘆の声を上げます。「美しいですね。しかも屋根瓦や壁のタイル、窓のプロポーシオンをそろえることで、4つの建物に統一感を生み出している。この手法にも感心します」

中庭を中心にしたキャンパスの配置

中庭を挟んで向かい合う理学館(写真上)と文学館(写真下)、図書館(写真左)と礼拝堂・講堂のある総務館(写真右)。この構成には、理系と文系、知識と心との融合という理念が込められている



W.M.ヴォーリス
アメリカ・カンザスに生まれ、1905年に24歳で伝道のために来日。建築は独学だったが、関西学院大学・大丸心齋橋店・東洋英和女学院旧校舎などの名作を数多く残した
(図版提供:公益財団法人近江兄弟社)

名建築を訪ねて

モレスが目指す建築の理想を、名建築を訪ねるシリーズ。
第4回は、W.M.ヴォーリスの珠玉のような学校建築「神戸女学院」です。



国指定重要文化財
Vol. 04
神戸女学院
【兵庫県 西宮市】

噴水のある中庭から眺めた理学館。抑えた色彩のS字瓦、壁面下部をおおうスクラッチタイル、縦長の窓といった共通のディテールが、このキャンパスに心地よい統一感を生み出している。



文学館の外側にあるオープンスペース。木漏れ日美しい森からは、さまざまな鳥たちの声が降り注ぐ



直射日光から貴重な本を守るために北向きに配置された図書館閲覧室。大きな連続窓は、その中で十分な明るさを確保するための工夫だという

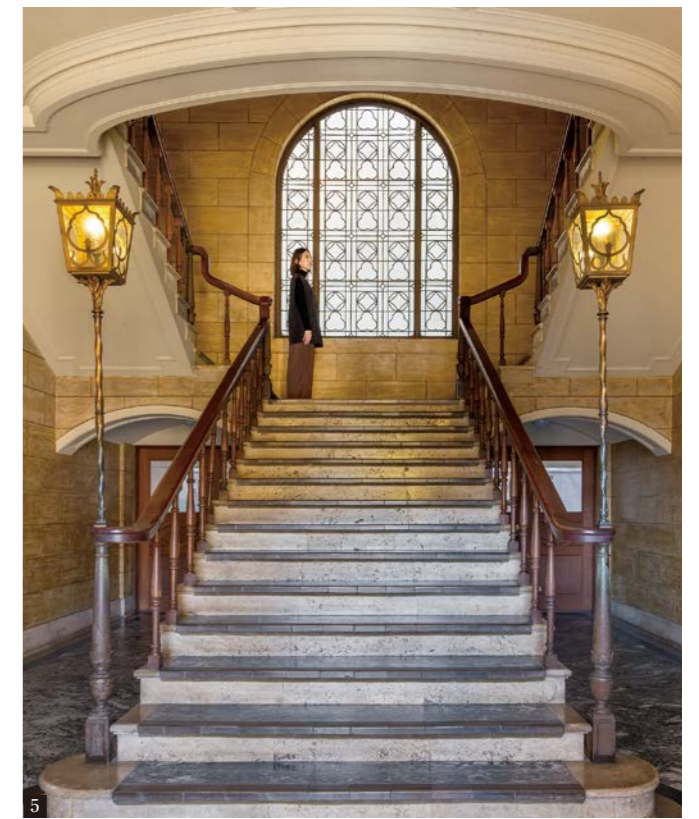
美しい心を
育むための
品格ある建築

さまざまな建物を残したヴォーリスが、学校の設計で重んじたのは、「美しい心を育むための品格ある建築」でした。それを象徴する建物のつが、中庭の南に位置する図書館閲覧室。約6mの高い吹き抜け、壁面に連なる7つの大窓が、素晴らしい開放感を生み出します。開館当時から使っているという閲覧机・椅子・照明が、そこにしっくりとなじんでいます。

「だからでしょうか。こんなに天井が高いのに、どこかホッとする不思議な優しさがあります。梁を飾る意匠も女性の学び舎らしいですね」と内田。こうした意匠はキャンパスの至るところに施され、今もその美しさを引き立てています。それはまた、100年近くにわたってこの建物をいとおしみ、メンテナンスや補修を重ねてきた関係者の努力と誠意の証ともいえそうです。

「建築の基本は、建てた人、使う人の愛着に込めること。時代は変わっても、その精神は不変だと、このキャンパスを見て改めて思いました」

「これからも、大勢の方々の愛着に込める家づくりに努めたいと思います」という内田とともに、この美しいキャンパスを後にしました。



神戸女学院(国指定重要文化財)
〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4-1
TEL:0798-51-8505 FAX:0798-51-8506
URL: https://www.kobe-c.ac.jp
※見学については、ホームページをご覧ください



神戸女学院大学
(公式ホームページ)



住宅街の中にある神戸女学院のアプローチ。奥の正門も国の重要文化財に指定されている

名建築を訪ねて Vol.04 | 訪問した人 株式会社モレス 内田 真奈美

今回、神戸女学院を訪れたのは、モレスの建築家である内田 真奈美。「竣工は完成ではなく、そこで暮らす家族で創りつづける家であらばうれしい」という想いのもと、家族の幸福な暮らしを何よりも大切にする建築家。



株式会社モレス
(公式ホームページ)

1 中庭から望む図書館全景

2 閲覧室の卓上ライトは1933年の創建当初に備えつけられた物

3 閲覧室の椅子もヴォーリスの設計

4 閲覧室天井を彩るアラベスク文様(※)

(※)植物や幾何学などをモチーフとするペルシャ美術の装飾文様

5 総務館の1・2階を結ぶ階段は、手すりの優美な曲線や、踊り場を飾る窓の意匠が印象的